

## 2006年3月の東北地方の天候 【3月の特徴】

- ・記録的な暴風
- ・中旬の東北日本海側の多雨、寡照

### (1) 2006年3月の概況

低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は一時冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多くかった。特に中旬は東北日本海側を中心に降水量がかなり多く、日照時間がかなり少なかった。

また低気圧はたびたび日本付近で発達したため、暴風になる日が多く、各地で被害が発生した。

月平均気温は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。月間日照時間は東北地方で平年並。

### (2) 各旬の天候経過

**上旬**：低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過した。通過後一時冬型の気圧配置となる日もあり、東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多くかった。寒冷前線の通過した8日は、西よりの風が強まり、宮城県では飛散物により負傷者がでたり、鉄道の運休など交通障害が発生した。仙台では最大風速18.6メートル、最大瞬間風速32.3メートルを観測した。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北地方で多い。

**中旬**：低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となる日が多くかった。東北日本海側では曇りや雨または雪の日が続いたが、東北太平洋側では晴れの日が多くかった。17日と20日は日本付近で低気圧が発達したため各地で暴風となった。特に20日は最大瞬間風速で八戸35.7メートル（3月として歴代1位）、大船渡34.2メートル（3月として歴代2位）を観測するなど記録的な暴風となり、屋根がめくれたり、鉄道の運休や航空便の欠航が相次いた。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

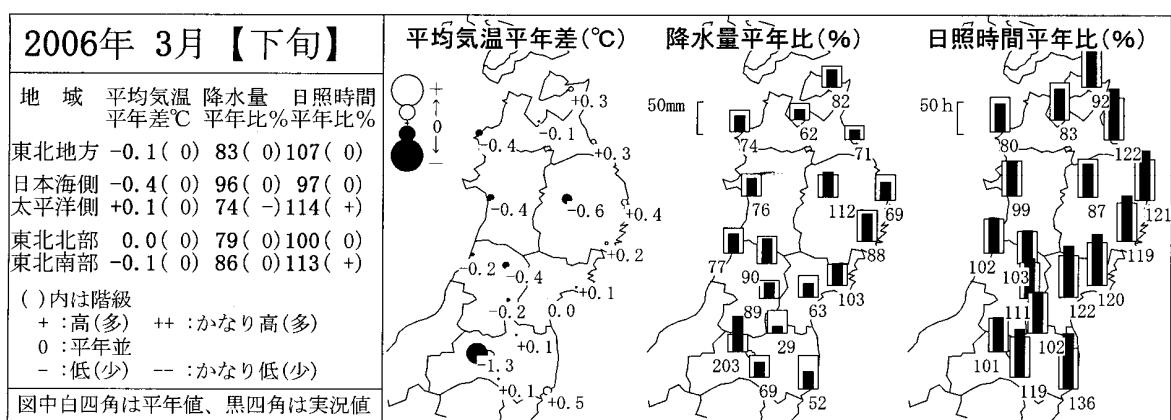
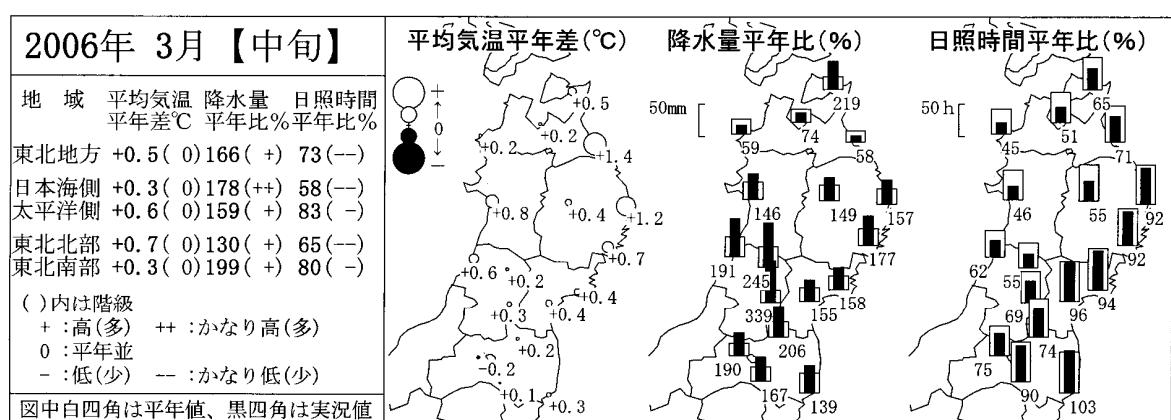
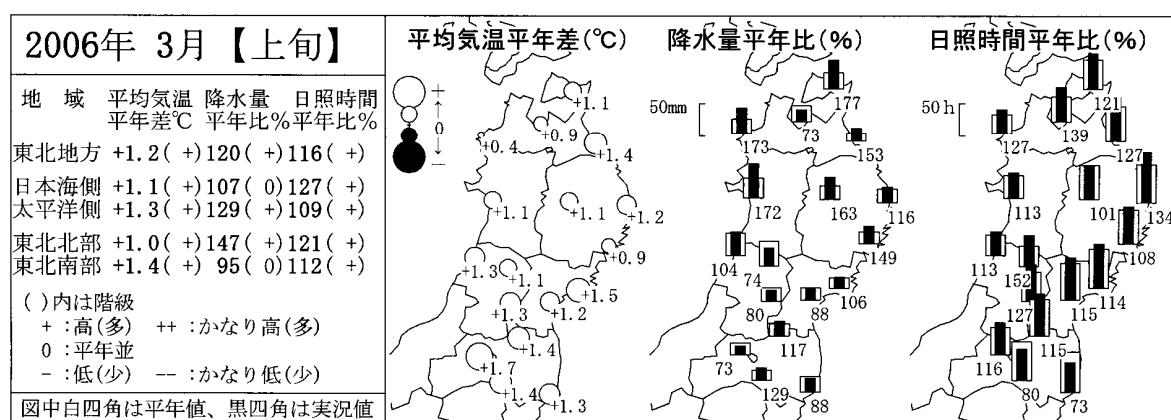
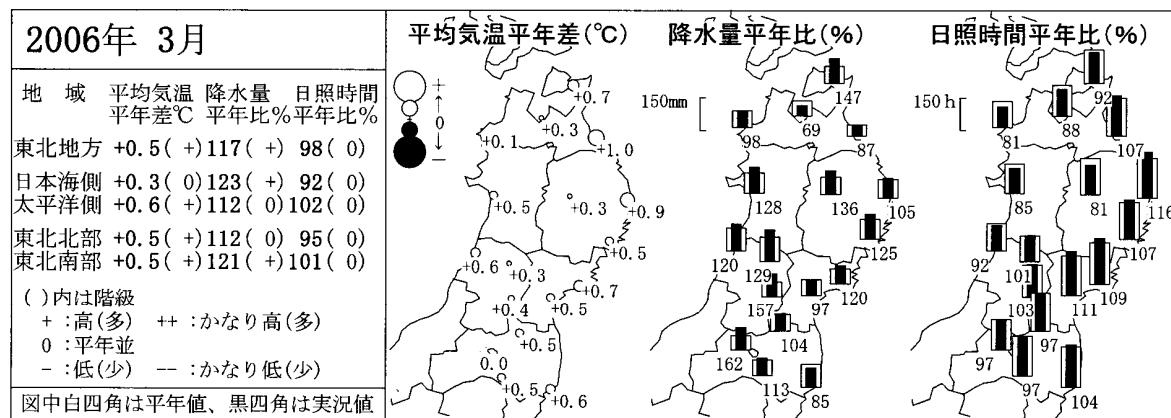
**下旬**：21日は20日に引き続き冬型の気圧配置となり風が強く、仙台では最大風速18.5メートル、最大瞬間風速33.9メートルを観測した。その後は低気圧や寒冷前線が短い周期で通過した。通過後は高気圧に覆われる日が多くたが、29～31日は冬型の気圧配置が続いた。天気は東北日本海側では曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多くかった。冬型の気圧配置が強まった30日は暴風となった所もあり、八戸では最大風速18.1メートル、最大瞬間風速30.5メートルを観測した。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については3ページ目脚注1を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

(3) 2006年3月の期間・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

#### (4) 2006年3月の月気候表

地 点	月平均気温(平年差)			月降水量(平年比)			月間日照時間(平年比)			月降雪量(平年値)			月最深積雪(平年値)		
	°C	°C	階級	mm	%	階級	h	%	階級	cm	cm	階級	cm	cm	階級
青森	2.3	( +0.3 )	+	48.0	( 69 )	—	123.6	( 88 )	—	40	( 97 )	—*	86	( 84 )	○
深浦	2.7	( +0.1 )	○	76.5	( 98 )	○	96.7	( 81 )	—	20	( 53 )	—*	38	( 27 )	+
むつ	2.1	( +0.7 )	+	114.0	( 147 )	++*	141.4	( 92 )	○	87	( 95 )	○	40	( 52 )	○
八戸	3.3	( +1.0 )	+	45.0	( 87 )	○	186.0	( 107 )	+	13	( 56 )	—*	10	( 17 )	○
盛岡	2.1	( +0.3 )	○	109.0	( 136 )	+	135.4	( 81 )	—*	45	( 60 )	○	23	( 20 )	○
大船渡	4.0	( +0.5 )	+	114.5	( 125 )	○	179.7	( 107 )	○	11	( 13 )	○	4	( 6 )	○
宮古	3.9	( +0.9 )	+	90.0	( 105 )	○	211.7	( 116 )	++*	12	( 47 )	—*	12	( 18 )	○
仙台	5.0	( +0.5 )	+	70.5	( 97 )	○	203.0	( 111 )	+	1	( 15 )	—*	1	( 7 )	—
石巻	4.4	( +0.7 )	+	84.5	( 120 )	○	207.4	( 109 )	+	—	( 11 )	—*	—	( 9 )	—*
秋田	3.7	( +0.5 )	+	119.0	( 128 )	+	115.5	( 85 )	—	30	( 51 )	—	7	( 20 )	—
山形	3.5	( +0.4 )	○	104.5	( 157 )	++*	150.6	( 103 )	○	35	( 71 )	—	16	( 27 )	○
新庄	2.3	( +0.3 )	+	144.5	( 129 )	+	118.6	( 101 )	○	90	( 134 )	—	91	( 98 )	○
酒田	4.8	( +0.6 )	+	124.0	( 120 )	+	116.0	( 92 )	○	13	( 43 )	—	7	( 14 )	○
福島	5.4	( +0.5 )	+	80.0	( 104 )	○	173.1	( 97 )	○	4	( 34 )	—	3	( 10 )	—
若松	3.0	( 0.0 )	○	103.5	( 162 )	++*	135.7	( 97 )	○	77	( 74 )	○	17	( 28 )	○
白河	4.1	( +0.5 )	○	80.0	( 113 )	○	177.7	( 97 )	○	—	( 32 )	—*	—	( 10 )	—*
小名浜	6.8	( +0.6 )	+	90.0	( 85 )	○	196.2	( 104 )	○	0	( 2 )	—	—	( 2 )	—

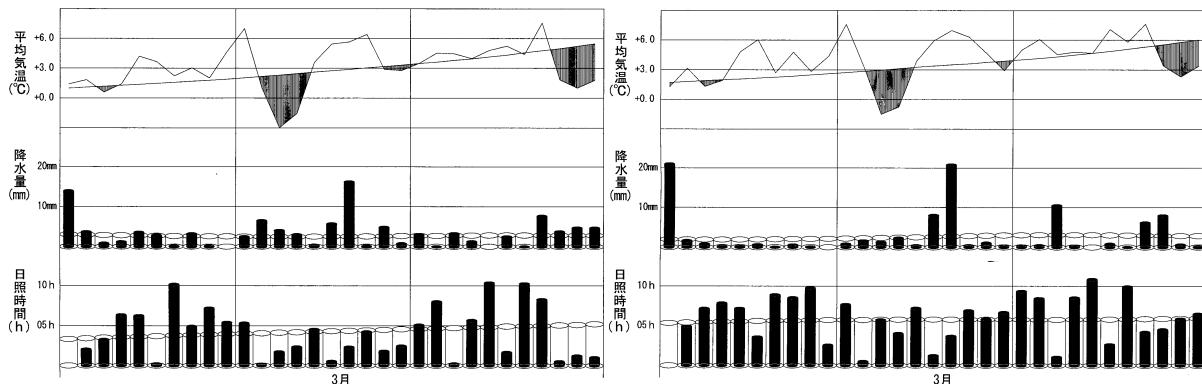
・「階級」の記号の意味は以下のとおり

+:高い(多い) ○:平年並 −:低い(少ない) \*は「かなり」を表す

・「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

・値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (5) 2006年3月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

##### 注1) 細分地域

東北日本海側:青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側:青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部:青森県、秋田県、岩手県

東北南部:宮城県、山形県、福島県

注2) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3階級とし、それぞれの階級幅は、1971～2000年の30年間において出現した値を等確率(33.3%)に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率10%の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

#### (6) 2006年3月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計値多い方から、月最深積雪大きい方からの3位まで。)

なし